

# 文書作成ソフト（Word）の図形を使って絵をかこう

単 元	図形の拡大と縮小	対象学年	6 年
ね ら い	文書作成ソフト（Word）に搭載されている図形作成機能を利用し，図形を変形させながら絵をかく操作を通して，「拡大・縮小」という言葉の概念を視覚的に理解する。		

## 1 準備するもの

教師：シェイプアート制作シート（文書作成ソフト（Word）で作成 電子データの状態で見本に配付）図形でできた鳥の絵の手本（紙面）

## 2 学習のしかた

(1) 文書作成ソフト（Word）の図形の使い方の説明を聞く。

- ①変形の仕方      ②図形の動かし方
- ③図形の重ね方      ④図形のコピーの仕方

(2) 図形の変形練習を行う。

- ・縦方向へ伸ばす（縮める）
- ・横方向へ伸ばす（縮める）
- ・サイズ変更をする（拡大や縮小）

(3) 「拡大・縮小」という言葉の意味について学ぶ。

(4) 提示された図形を変形させて，見本と同じ鳥の絵を作成する。

(5) 鳥の絵の作成過程を振り返り，図形を拡大・縮小して描いた部分はどこか確認する。

(6) 拡大・縮小についてノートにまとめ，本時の感想を書く。

## 3 学習上の留意点

- ・パソコン教室を利用する。
- ・図形の変形方法について，しっかり理解させておく。（以下の3点）
  - ① 縦方向への伸縮。
  - ② 横方向への伸縮。
  - ③ 形を変えずにサイズ変更。

## 4 学習の効果

- ・描きたいものと，提示された図形の大きさを比べたり，自分で操作したりすることで，楽しみながら活動を行うことができる。
- ・自分自身で図形の拡大・縮小の操作を行うため，体感的にその概念を理解することもできる。
- ・うまくいかなかったときには，図形をコピーして何度もやり直すことができたため，意欲を持続させることができる。